

## 平成28年度第2回幕別町次世代育成支援対策地域協議会会議録

- 1 日時  
平成28年10月25日（火）19：00～20：00
- 2 場所  
幕別町役場 2階2-C会議室
- 3 出席した委員  
9人：荒木委員、浦上委員（代理伊丹）、片岡委員、齊藤委員、下川委員、  
嶽山委員、千葉委員、西川委員、堀委員
- 4 欠席した委員  
5人：式見副会長、伊藤委員、大坂委員、小山委員、杉山委員、矢野委員
- 5 事務局  
8人：境谷住民福祉部長、杉崎こども課長、金田一保健福祉課長、菅原保育係長、  
児玉こども支援係長、浜頭福祉係長、佐々木主査、森主任
- 6 配布資料  
資料1：指定期間満了後の札内青葉保育所について  
資料2：認可保育所（町営）の保育時間延長について  
資料3：平成28年度ファミリーサポート事業の実施状況について
- 7 内容  
(1) 開会 千葉会長挨拶。  
(2) 議事  
○ 進行：千葉会長  
① 指定期間満了後の札内青葉保育所について  
指定期間満了後の運営方法、民設民営化の利点、札内青葉保育所で実施されて  
いる保育事業、移管先法人の決定方法について事務局（菅原係長）から説明。  
【資料】  
○資料1 指定期間満了後の札内青葉保育所について  
【質疑・意見】  
委 員：民設民営化の利点は説明されているが、マイナス面についてはな  
いのか教えてほしい。  
事務局：現在の委託先法人は7年間の実績があり、毎年保護者アンケート  
を実施して90%以上の保護者から満足してるとの回答が得られて  
いる。町では保育所の委託先に社会福祉法人を選定しており、社  
会福祉法人であれば利益の配分ができないことから、利益を追求  
した運営は行なわれないと考えている。  
委 員：民設民営にすると期間はどうなるのか。（現青葉保育所の）建物は  
町のものなのか。  
事務局：期限は設けない。南保育園が数年前に民設民営にしたが、土地に  
ついては賃貸借契約し、建物については無償譲渡する。建物自体  
も38年経過しており、近い将来建替えが想定されている。  
委 員：法人を決定するのは公募で行なうのか。  
事務局：判断は幕別町立保育所民営化移管先法人選定委員会で決定するが、  
事務局案としては、現在の委託先法人でヒアリングを行ない判断  
したい。  
委 員：先ほど民設民営で話がでていた南保育園について、民設民営にして  
どうなったのかお話し聞きたい。

事務局：一番大きかったことは建物の更新ができたことである。また、自由度が高く、民間ならではの建物の大きさや、付帯設備（プール等）を設置して差別化を図ることができている。

事務局：また、スピード感についても、町で今年から始めた主食提供事業にしても、南保育園は全日程ではないが以前から行なわれていた。

- ② 認可保育所（町営）の保育時間延長について  
延長保育の実施方法について事務局（菅原係長）から説明。

【資料】

○資料2 認可保育所（町営）の保育時間延長について

【質疑・意見】

委員長：確かにニーズはあるのかもしれないが、19時に延長したら、次は19時30分と、どんどん際限がなくなる懸念がある。民間が19時まで開所しており、時代のニーズにあわせる必要はあるが、公設が無理して民間にあわせる必要は無いのではないか。民間と公設の違いも必要ではないか。働いている人（職員）のことも考える必要

委員：働いている親の形態がどうなのか、この資料ではわからない。

事務局：色々な要素があると分析しているが、保育所では18時以降でも30%近くの子どもが残っている。働いている先の仕事が遅くまでかかるケースもあるが、預けられないから就職できないケースもある。議員等からも意見があり、実態を調査して、検討し進めていかなければならない。

委員：家庭の経済状況等により、（母親も）働かなければならず、子どものことだけを考えるととはならないが、結局は大人の都合で子どもが保育所に預けられる。時間を延ばすのであれば、働いている職員の報酬や負担等についても十分考慮しなければ、保育の質の低下に繋がり子どもに影響を受ける。

- ③ ファミリーサポート事業の実施状況について

会員申込状況、講習会等の実施状況、会員説明会受講状況、ファミサポ利用状況、今後のスケジュールについて事務局（児玉係長）から説明。

【資料】

○資料3 平成28年度ファミリーサポート事業の実施状況について

○ファミリーサポートセンターパンフレット

○子育て支援講演会次第

○ファミサポ通信

○第4回子育て講習会のお知らせ

【質疑・意見】

委員：（ファミサポの会員数）町で予想していた数字（人数）と比べてどうなのか？

事務局：町では50名程度を予想しており、会員数54名なので、大体予想どおりの人数である。

委員：会員に忠類の人間がいないが、私はそれは良いことだと考えている。忠類はこのような団体（組織）がなくても、地域の助け合いでまかなえている。

委員：講習会について自分も参加したが、会員になるかは別にして、良

い内容だった。講習会に忠類の人間が参加はしていないのか？

事務局：講習会については残念ながら参加はない。ただし、講演会は忠類の方も参加している。

委員：（講習会の開催について）夜間の開催も検討してはどうか？

事務局：受講した方にアンケートを行い、調査を行なっている。今年は事業実施初年度のため、まずは会員確保を目的として、先行自治体等を視察し、最も参加人数が集まる時間で講習会を設定している。ある程度会員が確保できれば、夜間や土・日曜日の開催についても検討していく。

### (3) その他

#### ○事務局

次回の会議について、年度内最低1回開催するが、会長と相談の上決定したい。決まり次第、文書にて案内する。

#### ○千葉会長

大変貴重な意見をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

閉会